

## 1. 地域連携の好事例

カーボンニュートラルを目指した地域エネルギーシステムに関する研究

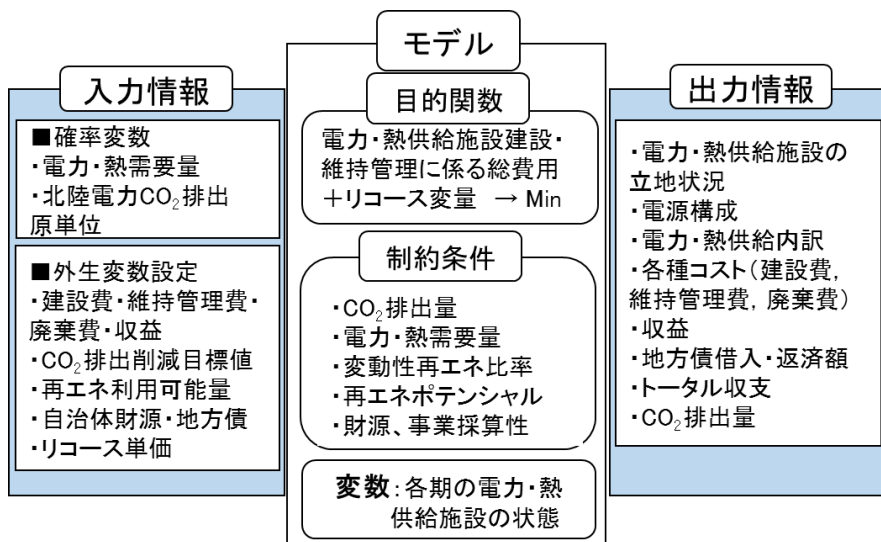


図-1 将来的不確実性を考慮したエネルギーシステム計画モデルの概要

## 研究結果

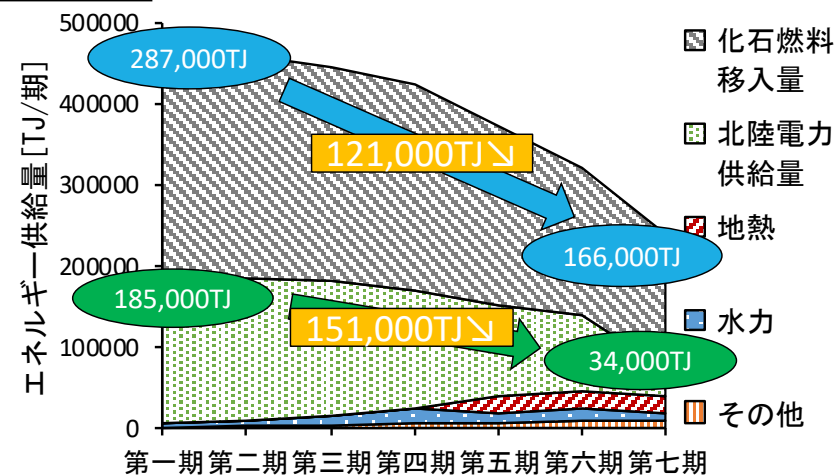


図-2 最適化計算結果 (2050年CO<sub>2</sub>80%削減の場合)

説明：将来的不確実性を考慮しながら、カーボンニュートラルに向けたエネルギーシステムの在り方を検討する数理計画モデルを開発し、富山県を対象に実証的検討を行った。

## 2.地域連携における課題

### 大学のシーズと地域ニーズのマッチング

本学教員と自治体との富山の地域性を活かした共同研究の他、自治体、学校（小中高校など）、企業に対し、地域ゼロカーボンづくりにつながる啓蒙活動を精力的に行っている。一方で、国はカーボンニュートラルの実現に向けて革新的なイノベーションにつながる研究を加速することを求めているものの、研究者が持つ最先端の研究シーズと、地域のニーズにはギャップがあり、マッチングが困難であるケースが多い。

また、地域ゼロカーボンに向けた取り組みは様々な分野が連携しながら進めることが理想的だが、現在は複数の考え方があること、特定の研究分野への偏りがちであることや、分野による意識の違いが大きい。

### 理念の同意から行動へのハードル

カーボンニュートラル、ゼロカーボン等のキーワードは浸透し、その重要性も認識されつつあるが、実際に地域ゼロカーボンに向けた取り組みを行う場合、単なる省エネや再エネだけではなく産業育成やまちづくり、地域発展につなげる必要があることから、多くの組織（企業も含む）が協力・連携する必要がある。しかし、県内中小企業の多くは地域ゼロカーボンへの取り組みに対して具体的なアクションに進むためのイメージを抱けずにいる場合や、県を跨ぐ形の活動になる場合（本社が県外にあるなど）、連携体制が複雑化するなど、具体的な行動に進むまでのハードルが高い。

# 富山県立大学

## 3. その他特徴的な取り組み

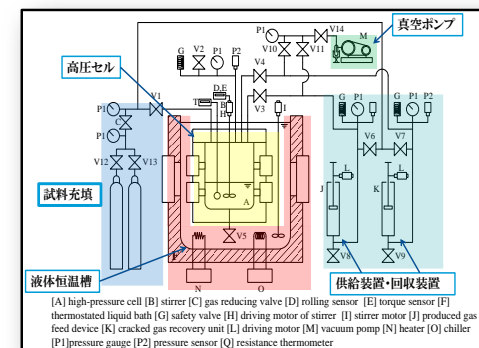
### 地域ゼロカーボンづくりにつながる啓蒙・教育活動

高校を中心とするサテライト授業や県生涯学習カレッジにおいて水素エネルギーと地域のあり方について多数講義を行っている。



### 海洋深層水+CO<sub>2</sub>ハイドレートについての研究

滑川で採取された海洋深層水を用いてCO<sub>2</sub>ハイドレートを生成し、基礎物性および施用効果についての、共同研究を実施。



4. 地域ゼロカーボンワーキンググループに期待すること、幹事機関・事務局へのリクエスト  
産業，交通，家庭の各部門における取り組み事例の情報共有。

5. 地域ゼロカーボンワーキンググループへの意気込み・積極的な一言  
カーボンニュートラル社会の実現に向け微力ながら尽力いたします。